

第2回病態生理研究会

2025年11月14日(金) 17:00~19:00

場所：鹿田会館 2階 講堂

平島 正則先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科 薬理学分野 教授

「リンパ管形成機構と病態」

リンパ管は血管とともにからだのライフラインを構成し、体液の恒常性維持、免疫応答、脂質吸収、異物除去などに重要な役割を果たしている。発生過程において、リンパ管内皮細胞は静脈内皮細胞から分化してリンパ嚢を形成し、お互いに融合しながらリンパ管網を形成する。成体のリンパ管網は、末梢組織では血管網と分離しているが、頸部の静脈角付近で血管と吻合しており全身から集めたリンパ液を静脈に還流している。発生過程の異常は病態形成と密接に関連しており、胎児項部浮腫やリンパ管奇形（リンパ管腫）などの原因となる。また、リンパ管内皮細胞との接触による血小板の活性化に異常があると、リンパ管と血管が正しく分離されない。本セミナーでは、マウスモデルの解析で分かってきたこれらのトピックを中心に、リンパ管形成の分子機構とその異常によって生じる病態を紹介し、それらの知見を用いた脈管制御の可能性について議論したい。

問い合わせ先

学術研究院医歯薬学域 病態生理・創薬学分野 教授 中山 雅敬

TEL 086-235-7378 (内線7378)

E-mail masanori.nakayama@okayama-u.ac.jp